



企画イベント 今後の予定

2月
2月
2月
2月
2月

野鳥セミナー
海辺のセミナー
ハイキング

クイック市祭典

などなど

企画中です!

決まりましたらホームページ
やチラシに載せますので
チェックしてくださいね!

アイディアを
お待ちしています!

この「VISI(ヴィズィ)」は、
三陸復興国立公園南三陸・海のビジャーセンターと
2018年4月にオープンした石巻・川のビジャーセンターの
季刊誌です。

この2つのビジャーセンターでは、
国立公園についての情報発信や
森・里・川・海のつながりを体験できる、
プログラムの企画などを実行しています。

開館時間 9:30 ~ 16:30 (両センター同じ)

休館日 火曜日 (春(木・夏)休み中の火曜日は、開館しております。)

入館料 無料 ★年末年始は、12月29日~1月3日休館

ホームページでもイベント情報など更新しております。インターネット環境がある方は、
「海のビジャーセンター」または「川のビジャーセンター」で本食事か下記URLをご覧下さい。

南三陸・海のビジャーセンター <http://kawatouminovisitorcenter.jp/umi/>

石巻・川のビジャーセンター <http://kawatouminovisitorcenter.jp/kawa/>

編集長 オーブ(オカバ)さん
(曾山)

オオバンの足
コクガシとよく一緒にみかける
オオバン。実は変わった足の持ち主です。ニジキ
カモノの足には水かきがありますが、
オオバンの足にはうわゆるような
弁膜(べんまく)があてこれを
弁足(べんそく)と言います。
オオバンの他の仲間は弁膜
が発達していないくて、オオバン
は特に水辺に適応して
いるんだとか。すごいぞ、オオバン!
余談:弁足は植物のニシギリ以降。

正月はナタガレイ!?
福島出身
ほのかのほ
宮城県のお正月に欠かせない
魚がいるんだとか!?
それが「ナタガレイ(ババガレイ)」
地元の人間に聞いて初めて知りました。
カレイは「家例」と書いて家に伝わるしきたり
という意味につながり、カレイのソテは子孫ち
(卵がある)で「子宝や子孫繁栄」の縁起物
という意味もあるそうです。

**日本文化の危機に
フェロノサが!**
「日本画」という言葉は、明治20年代
から使用され始めた。きっかけは、
アメリカ人のアーネスト・ラシット・フェロ
という日本美術研究家。
1878年(明治11年)、ハーバード大学
に出席した東京大学の萩原龍溪を
みて来日。
東京大学で哲学や経済学を教えて。
来日後、仙遊や浮世絵など日本美術の
美しさに惚れ離れ、全国の古寺を
旅したりした。フェロノサは日本人が日本美術を大切にしていることに
気づく。明治維新後、日本人が考る「芸術」は海外の美術画や雕刻。
1868年の明治維新後、「魔仏毀釈」と言って日本人の手で仙遊や
ご神木、寺院など日本文化を瓦礫に覆行かたかった。
フェロノサは金い衝撃を受け、日本美術の危機感に立ち上がり、歴史の
文化財を瓦礫から守った。
やがて明治政府から鳥取西古社寺調査団の顧問には就任された。
フェロノサの言調査が基となり、
1897年(明治30年)
古社寺保存法(現在の文部省保護法)
が制定された。
1908年(明治41年)、ロンドンで
フェロノサは55歳の日本を退社。
遺骨は、現成した三義賀県大津市
にある三井寺の法明院に移葬され、
現在も納められている。

日本文化、あがむがった〜!

ビジターセンター寄ってみっか!!

東北の国立公園にある環境省直轄のビジターセンターをご紹介します!

十和田ビジターセンター
青森
種差海岸インフォメーションセンター

宮城
秋田
八幡平ビジターセンター

岩手
網張ビジターセンター
浄土ヶ浜ビジターセンター

山形
月山ビジターセンター

福島
淨土平ビジターセンター
裏磐梯ビジターセンター

他、環境省直轄の世界遺産センター・野生生物保護センター

青森
白神山地世界遺産センター「西目屋館」

秋田
白神山地世界遺産センター「藤里館」
森吉山野生鳥獣センター

山形
猛禽類保護センター 鳥海イヌワシみらい館

せひお立ち寄りください
※お立ち寄りの際は、体験官日などを
ホームページや電話などで確認の上、お立ち寄り
丁目ことをおすすめします。

スタッフコーナー
新規スタッフの紹介です!

ジャニス様
佐藤 麻衣
大学院で鯨歯工芸の
研究をしています。
週1回業務をしながら
ビジターセンターのお仕事を
勉強中です!